

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|
| 品番 | LGWC40114
(オフブラック) | LGWC40115
(シルバーメタリック) |
| | LGWC40116
(プラチナメタリック) | LGWC40117
(ホワイト) |

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

注) この商品は人を検知して、フラッシングで人を威嚇する機能を持っていますが、侵入、盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

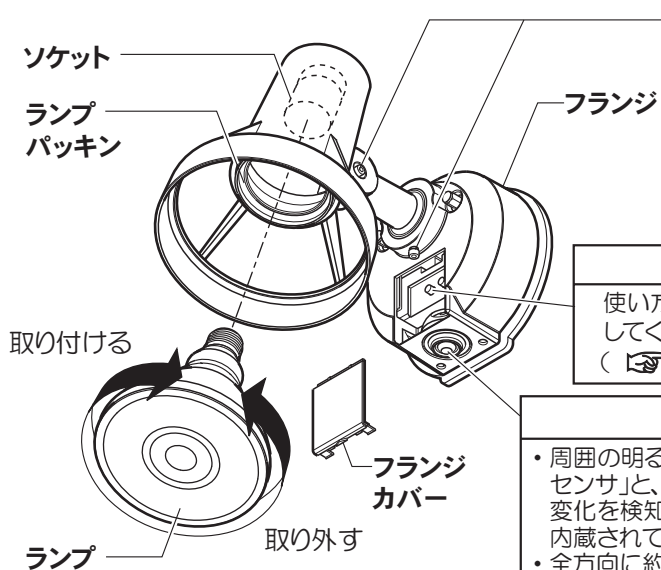
		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

警告	
<p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ランプは器具表示のものを使用する 間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。 ● 異常を感じた場合、速やかに電源を切る 異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプの取り付けはランプパッキンが全周に当たるように確実に 浸水による火災、感電の原因となります。 ● 器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 <p style="text-align: center;"> 分解禁止</p>

注意	
<p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 照明器具には寿命があります。 設置して10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。 点検、交換してください。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。 ◎ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。 ● ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る 通電状態で行うと感電の原因となることがあります。 ● 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する 器具の取り外しには資格が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ● LEDを直視しない 目の痛みの原因となることがあります。 ● 器具に直射日光が当たる状態で点灯させない 温度上昇によるランプの短寿命や一時的な明るさ低下、不点灯の原因となります。 ● 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない やけどの原因となることがあります。 ◎ お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。 <p style="text-align: center;"> 接触禁止</p>

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ



固定ネジ

六角棒レンチ(対辺3mm)で固定ネジを緩めて、下記の範囲で照射方向を調整できます。



調整ツマミ

使い方に合わせて、調整してください。
(☞ 4~6ページ参照)

検知部

- ・周囲の明るさを検知する「明るさセンサ」と、人の動きによる温度変化を検知する「人センサ」が内蔵されています。
- ・全方向に約20度動きます。
- ・連続点灯中は赤く点灯します。

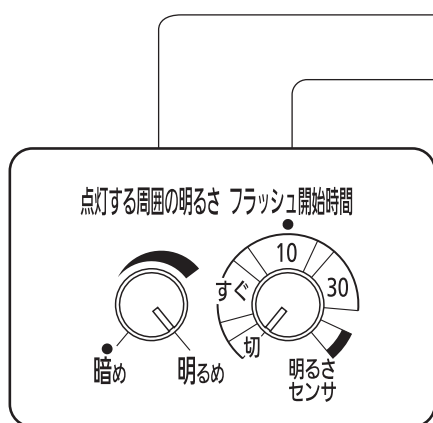
●調整ツマミの設定はフランジカバーを外して行ってください

フランジカバーの取り付け・取り外しかた



フランジカバーは必ず取り付けで使用してください。フランジカバーを外したまま使用すると水が浸入し、感電、故障の原因となります。

調節ツマミのはたらき



●「点灯する周囲の明るさ」ツマミ

周囲がどれくらい暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを調整します。

- ・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。
- ・昼間など明るいうちから動作させたい場合は、「」の表示の範囲でご使用ください。

注) 右いっぱいに戻すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。人が検知範囲から外に出てから約5秒後に消灯し、検知範囲を確認するときのテストモードとなります。

●「フラッシュ開始時間」ツマミ

防犯すぐモード、防犯設定時間後モード(☞ 3, 4ページ参照)で使用時、検知範囲に人が入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを調整します。

- ・「すぐ」、「10」秒後、「30」秒後から選べます。

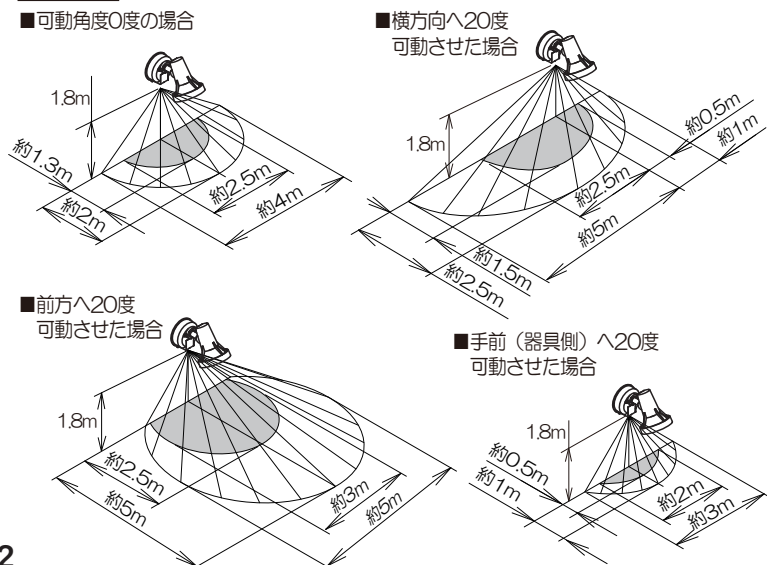
ON/OFFモード(☞ 3, 5ページ参照)で使用するときは「切」に設定します。

明るさセンサモード(☞ 4, 6ページ参照)で使用する場合は「明るさセンサ」にします。

センサの検知範囲

- 検知部は真下にした状態から全方向に約20°可動します。
- センサはおおよそ下図の「検知範囲」で検知します。
下図の「検知範囲」を参考にして検知部の角度を調整してください。
(記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。)
- (注) は別売エアアカットフード(HK279020)を取り付けた時の検知範囲です。

検知範囲



ご注意

この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件(気温、地面の状態、取り付け高さなど)、進入する人の状態(服装、移動速度、進入方向、体温など)により検知範囲が大きく変化します。

●検知範囲が広がる場合

- ・冬場など気温と体温の差が大きいとき
- ・人よりも大きな熱源(車など)が移動したとき

●検知しない、検知感が鈍い場合

- ・人が静止しているとき
- ・周りが明るいとき
- ・夏場など気温が体温に近づいたとき
- ・センサに向かってまっすぐ近づいたとき

●勝手に点灯する場合

- ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
- ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
- ・急激な温度変化を検知したとき
- ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
- ・ごく短い停電(瞬時停電)が発生したとき

センサによる点灯

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整つまみを設定してください。センサによる点灯動作は、「防犯すぐモード」、「防犯時間設定後モード」、「ON/OFFモード」、「明るさセンサモード」4種類のいずれかから選べます。

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯に使いたい

防犯すぐモードの動作説明

調整つまみの設定方法 4 ページ

周囲が明るいとき 昼間の動作			
周囲が暗いとき 夜間の動作			

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯に使いたい

防犯設定時間後モードの動作説明

調整つまみの設定方法 4 ページ

周囲が明るいとき 昼間の動作				
周囲が暗いとき 夜間の動作				

(注1) 人がいなくなって約1分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。

(注2) 検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままではフラッシングを開始しません。

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

ON/OFFモードの動作説明

調整つまみの設定方法 5 ページ

--	--	--	--

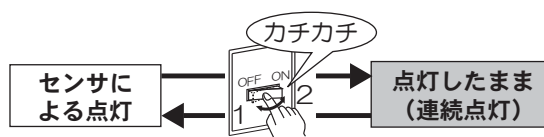
まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

明るさセンサモードの動作説明

調整つまみの設定方法 6 ページ

--	--	--

人がいないときも点灯したままにする(連続点灯)



切り替えかた

壁スイッチがONの状態から素早く(約2秒以内に)OFF→ONにする

センサによる点灯に戻す

再度、壁スイッチがONの状態から素早く(約2秒以内に)OFF→ONにする

メモ

- つまみで設定した明るさより周囲が暗いときだけ、点灯状態を切り替えることができます。
- 連続点灯のままにしても、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
- 日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがあります。最長15時間でセンサでの点灯に戻ります。
- 約2秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯にしたい

防犯すぐモード の動作説明

周囲が明るいとき 昼間の動作		▶		▶		▶	約10秒間フラッシング した後、消灯 (注1)
周囲が暗いとき 夜間の動作		▶		▶		▶	約10秒間フラッシング した後、点灯したままに
							人がいなくなって 約1分後、消灯

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯にしたい

防犯設定時間後モード の動作説明

周囲が明るいとき 昼間の動作		▶		▶		▶	人が近づいても照明は 消灯のまま (検知部が赤く点滅)	▶		▶	約10秒間フラッシング した後、消灯 (注1)				
周囲が暗いとき 夜間の動作		▶		▶		▶	人が近づくと照明が 点灯	▶		▶	約10秒間フラッシング した後、点灯したままに	▶		▶	人がいなくなって 約1分後、消灯
							人が約10秒間、または約30 秒間、検知範囲内で動き続け るとフラッシング (注2)								

(注1) 人がいなくなって約1分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。

(注2) 検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままではフラッシングを開始しません。

調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

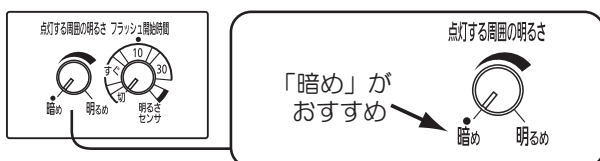
1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

「点灯する周囲の明るさ」ツマミで
どれくらい周囲が暗くなったら、
「昼間の動作」から「夜間の動作」

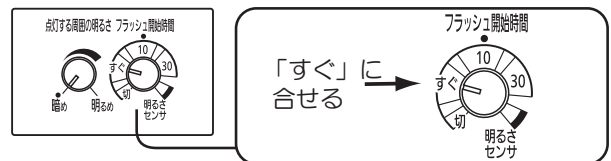
3 に切り替えるかを設定する



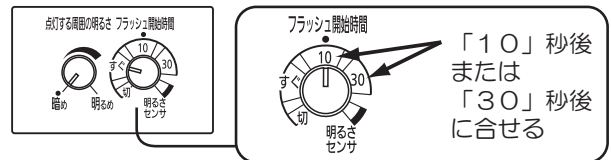
- 明るめ (右方向) に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。
(注) 右いっぱい回した状態で使用しないでください。「防犯すぐモード」、「防犯設定時間後モード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミで 検知範囲に入って、どれくらい経ってから 照明をフラッシングさせるかを設定する

■ 防犯すぐモードで使う場合



■ 防犯設定時間後モードで使う場合



5 フランジカバーを取り付ける

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

6 壁スイッチをONにする

▶ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

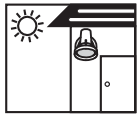
- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。

調整つまみを設定する

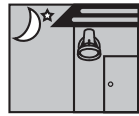
ON/OFFモードで使う場合

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

ON/OFFモードの動作説明



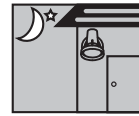
昼間、明るいときは
消灯



周囲が暗くなっても
人がいないときは消灯



人が近づくと点灯



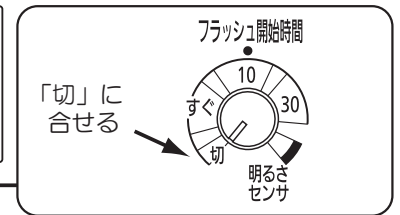
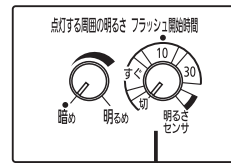
人がいなくなって
約1分後、消灯

調整つまみの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

4 「フラッシュ開始時間」つまみで「切」に設定する



2 フランジカバーを取り外す

👉 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

5 フランジカバーを取り付ける

👉 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」つまみで どれくらい周囲が暗になったら、 人が近づいたとき点灯させるかを設定する



- 明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから人が近づいたときに点灯します。
- 右方向いっぱいに戻すと、明るさに関係なく人が近づいたときに点灯します。

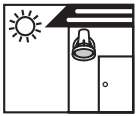
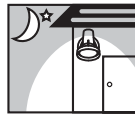
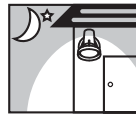
6 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

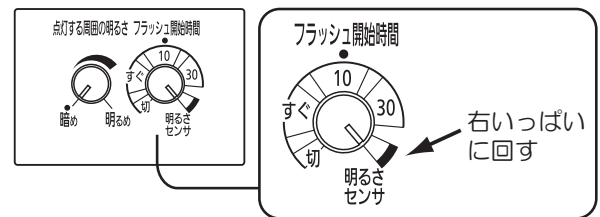
→ 明るさセンサモード の動作説明

昼間、明るいときは
消灯周囲が暗くなると
自動的に点灯暗い間は人がいても
いなくてもずっと点灯

調整つまみの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

4 「フラッシュ開始時間」つまみを
右いっぱいに戻し「明るさセンサ」
に設定する

2 フランジカバーを取り外す

 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

5 フランジカバーを取り付ける

 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照
3 「点灯する周囲の明るさ」つまみで
どれくらい周囲が暗くなったら、点灯
が始まるかを設定する

- 明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから点灯します。
- （注）右いっぱいに戻した状態で使用しないでください。「明るさセンサモード」が正常に動作しません。

6 壁スイッチをONにする

壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

お手入れ・ランプ交換

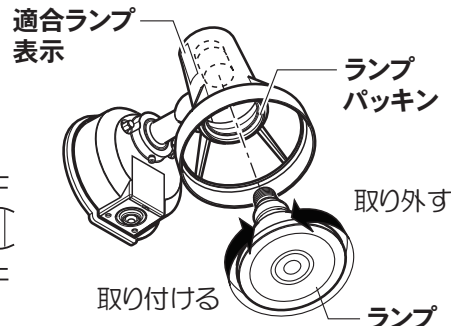
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヵ月に1度程度)に清掃をしてください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

- ランプの明るさが低下すると、ランプの寿命です。ランプを交換してください。
- パナソニック製ランプをお買い求めください。
- ランプの種類は器具に表示しています。白熱灯は使用できません。

ランプの交換方法



警告

必ず守る ランプの取り付けはランプパッキンが全周に当たるように確実に行う
浸水による火災、感電の原因となります。

メモ ランプパッキンとランプの接触部を少しめくるようにすると比較的簡単にランプが外せます。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- LEDにはバラストがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- 非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。
- 周囲が明るい時にセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサから手を離しても、点灯状態から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦スイッチをOFFにしてください。

【壁スイッチについて】

- 通常のご使用では、設定後は壁スイッチをONにしたままにしてください。
- 壁スイッチを一旦OFFにしても、再びONにすると、OFF前の点灯モードになります。但し、連続点灯の場合は、連続点灯の設定になります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ	使用環境
AC100V	50/60Hz共用	10.7W (センサ待機時0.3W)	0.185A	LED電球 ハイビーム電球タイプ10.7W(E26)	屋外用

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具	
●品番	<input type="checkbox"/> LGWC40114	<input type="checkbox"/> LGWC40115
	<input type="checkbox"/> LGWC40116	<input type="checkbox"/> LGWC40117
	<input checked="" type="checkbox"/> 器具のラベルをご参照いただき、品番にチェックをしてください。	
●故障の状況	できるだけ具体的に	

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用
- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

下記の点検をお願いします

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
各モード共通			
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯（またはフラッシング）しない	▶ 壁スイッチがOFFになっている	▶ 壁スイッチをONにする。	—
	▶ ランプが切れている	▶ ランプを交換する。	7ページ
	▶ 人が静止している	▶ 故障ではありません。静止している人は検知しません。	2ページ
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯（またはフラッシング）する (検知部は赤く点灯していない)	▶ 検知範囲に人以外の熱源がある。 例) 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	▶ 故障ではありません。センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、人以外の熱源でも点灯（またはフラッシング）することがあります。	2ページ
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯する (検知部は赤く点滅している)	▶ 電源を投入した直後である	▶ 故障ではありません。電源を投入した直後、約40秒間は必ず点灯します。	—
	▶ 停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している (検知部が赤く点灯している)	▶ 壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている	▶ 壁スイッチを素早くOFF→ON（約2秒以内）にすると、センサでの点灯に戻ります。（検知部が赤く点灯しているのが消えます）	3ページ
	▶ 短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
人が近づいても検知しにくい	▶ 検知範囲が適切ではない	▶ 検知範囲を調節する。	2ページ
	▶ 検知部に汚れや水滴などが付着している	▶ 検知部をやわらかい布などで拭く。	7ページ
	▶ 検知しにくい条件となっている	▶ 故障ではありません。	2ページ
点灯保持時間が短い	▶ 点灯する周囲の明るさ調整ツマミが明るめ右いっぱいになっている	▶ ツマミを一旦左いっぱいにして右いっぱいの位置以外で使用する	2ページ
防犯すぐモードで使用している場合			
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	▶ フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	▶ 一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	—
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	▶ 故障ではありません。「防犯すぐモード」で使用している場合は、周囲が明るいときも人が近づくとフラッシングします。		4ページ
防犯設定時間後モードで使用している場合			
検知範囲を人が通ったのに照明がフラッシングしない	▶ 検知範囲を素早く通り過ぎた	▶ 故障ではありません。検知範囲を素早く通り過ぎた場合は、設定時間を過ぎてても、照明はフラッシングしません。	4ページ
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	▶ フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	▶ 故障ではありません。一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	—
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	▶ 故障ではありません。「防犯設定時間後モード」で使用している場合は、周囲が明るいときも設定時間、器具の検知範囲内で動きつづけるとフラッシングします。		4ページ
ON/OFFモードで使用している場合			
周囲が明るいのに人が近づくと照明が点灯する	▶ 点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	▶ 点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」の方向に回す。	5ページ
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯しない	▶ 点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	▶ 点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」の方向に回す。	5ページ
明るさセンサモードで使用している場合			
周囲が明るいのに点灯する	▶ 点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	▶ 点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」の方向に回す。	6ページ

●処置した後に正常に戻らない場合は、いったん電源を切り約10秒以上経ってから再び電源を投入してみてください。

それでもなお異常がある場合は、必ず電源を切り、販売店、工事店、別紙ご相談窓口にご相談ください。